

平成30年度地方創生応援税制認定事業評価書

担当課：商工課

1 事業概要

事業名	まちなか芝生広場プロジェクト		
総合戦略における位置付け	基本目標	I 生き生きと働けるしごとを創る II 新たなひとの流れを生み出す	
事業目的	南町自由広場は、これまで砂利敷きにより限定的な使用であったが、芝生広場を整備することによって、魅力ある空間を創出し、地域資源としての価値を高めていく。整備後については、周辺商店街、民間事業者・関係団体等との連携のもと、にぎわい創出に資する各種事業への積極的な支援により、新たな交流を生み出すとともに、まちなかの回遊促進を図る。 また、自由広場を拠点として、にぎわいの創出や交流人口の増加を図ることはもとより、商業活性化による買い物機能等の生活環境の向上、中心市街地の活性化につなげていくことを目的とする。		
事業期間	2018(平成30)年度～2019(令和元)年度		
事業費(千円)	総事業費	2018(平成30)年度	2019(令和元)年度
		12,703	11,203
	うち寄附額	6,000	0
事業内容	<p>【事業概要】 平成29年9月に官民連携により整備した「まちなか・スポーツ・にぎわい広場(通称:M-SPO)」における南町自由広場の敷地の芝生敷設工事及び車路整備工事を行い、様々なイベントでの利用を促進し、中心市街地の交流人口や売上額の増加を図ることにより、まちなか全体の活性化につなげていく。</p> <p>【具体的事業】 M-SPOにおける南町自由広場の芝生敷設工事及び車路整備工事を実施した。 オープニングイベントとして、市民参加型の芝張り体験イベントを開催した。市内の児童を対象に参加者を募集するため、近隣の小学校やスポーツクラブ等へチラシを配布したほか、市のホームページやFacebook等で広く周知を行った。また、体験イベントと同時に、民間事業者と連携し、スポーツを主要コンテンツとしたイベント等を実施した。 市民主体のイベント等へ広場の貸出を実施し、11件のイベントが開催され、延べ約53,000人が利用した。 M-SPOの利便性向上のため、施設案内及び広場利用案内の看板を設置した。</p>		
2019(平成31)年度以降の取組内容	芝生化された南町自由広場において、周辺商店街、民間事業者・関係団体等と連携しながら、スポーツイベントやマルシェ等をはじめ、にぎわい創出に資する各種事業を実施する。引き続き、自由広場等のPR活動を行い、市民の自主的な取組を促進するとともに、市民利用を促し、一年を通して多様な交流を創出する。あわせて、黄門まつりやまちなかフェスティバルなど、大規模集客イベント等における活用を図り、さらなるにぎわいの創出につなげる。		

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		基準値 2017(平成29)年度	目標値 2018(平成30)年度	実績値 2018(平成30)年度	【参考】目標値 2019(令和元)年度
1	広場利用者数(人)	37,000	40,000	54,000	43,000
2	中心市街地の 歩行者通行量(人)	109,800	113,100	106,543	116,400
3	中心市街地における 空き店舗率(%)	23.3	21.5	20.3	20.6
達成率平均値 (実績値-基準値)/(2018目標値-基準値)				212%	

(2)評価

達成度	評価
A	<p>自由広場の芝生化により、隣接するアリーナとの一体的な利用が可能となったことから、新たな分野のイベント等が開催され、広場利用者数の増加に寄与したものと評価する。</p> <p>また、中心市街地の歩行者通行量については、目標値には及ばなかったものの、水戸駅北口周辺や京成百貨店周辺においては、前年度よりも増加していることから、自由広場を活用した新たなイベントの実施により、周辺施設等との回遊性の向上に効果があったものとする。</p>

※達成度は、国の評価基準を踏まえ、達成率平均値に基づき設定

- A:地方創生に非常に効果があった(100%以上)
- B:地方創生に相当程度効果があった(70%~100%未満)
- C:地方創生に効果があった(50%~70%未満)
- D:地方創生にあまり効果が見られなかった(50%未満)

(3)今後の取組

方針	主な取組
事業を継続する	引き続き、自由広場の維持管理を行うとともに、にぎわい創出に資する各種事業を実施するほか、黄門まつりやまちなかフェスティバル等における活用を促進しながら、中心市街地の回遊性向上を図る。また、自由広場等のPR活動を行い、市民の自主的な取組を促進するとともに、平常時における利用を促し、交流人口の増を図る。

※方針は、国の評価基準を踏まえ設定

- ・事業が効果的であったことから、取組の追加等更に発展させる
- ・事業内容の見直し(改善)を行う
- ・事業を継続する
- ・継続的な事業実施を予定していたが中止した
- ・当初予定通り事業を終了した